

平成27年度

決算の概要

(説明資料編)

長野市財政部

1. 一般会計／特別会計決算

1

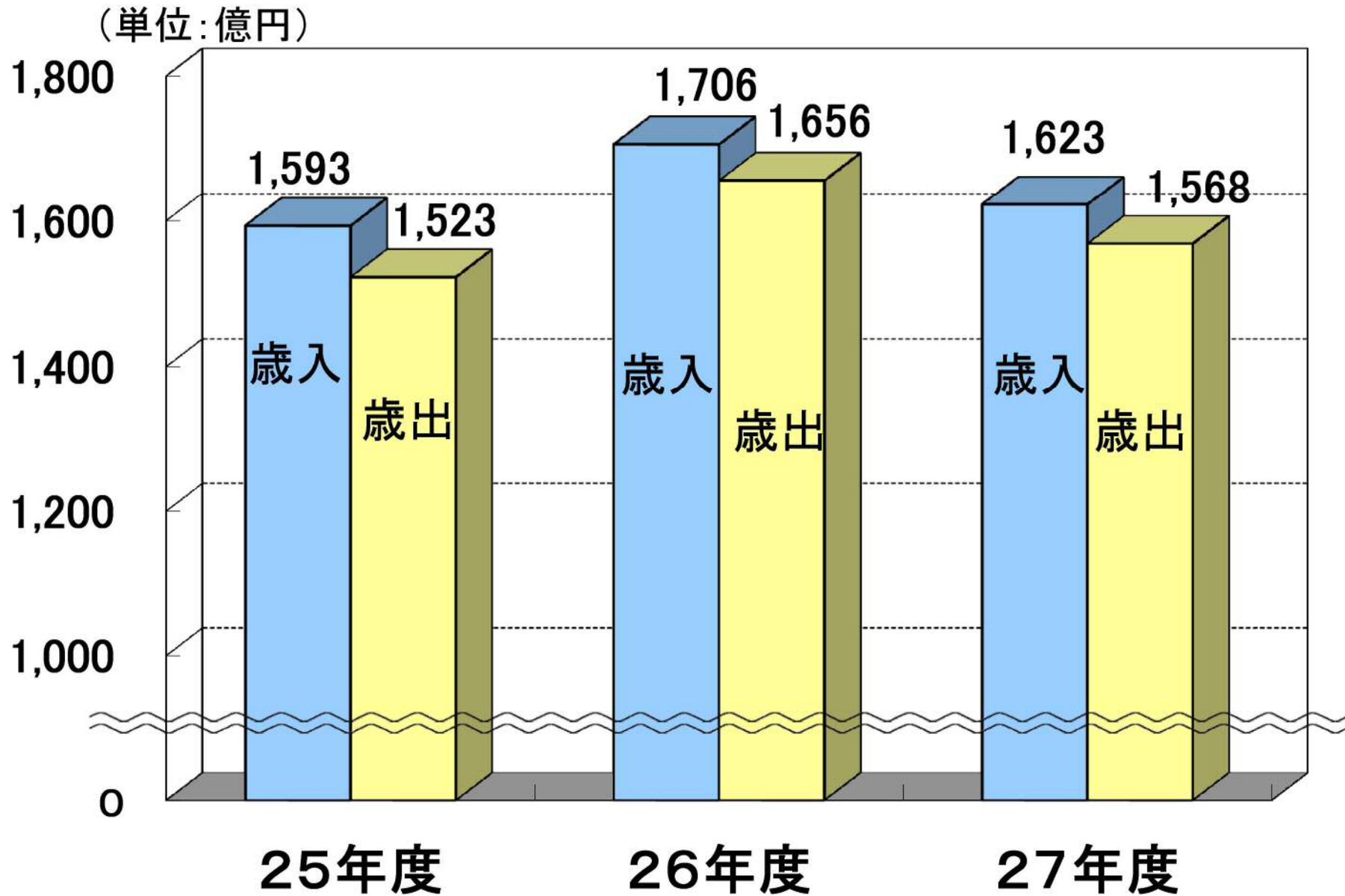
27年度決算は、一般会計と全ての特別会計において「黒字」になりました。

(単位:百万円)

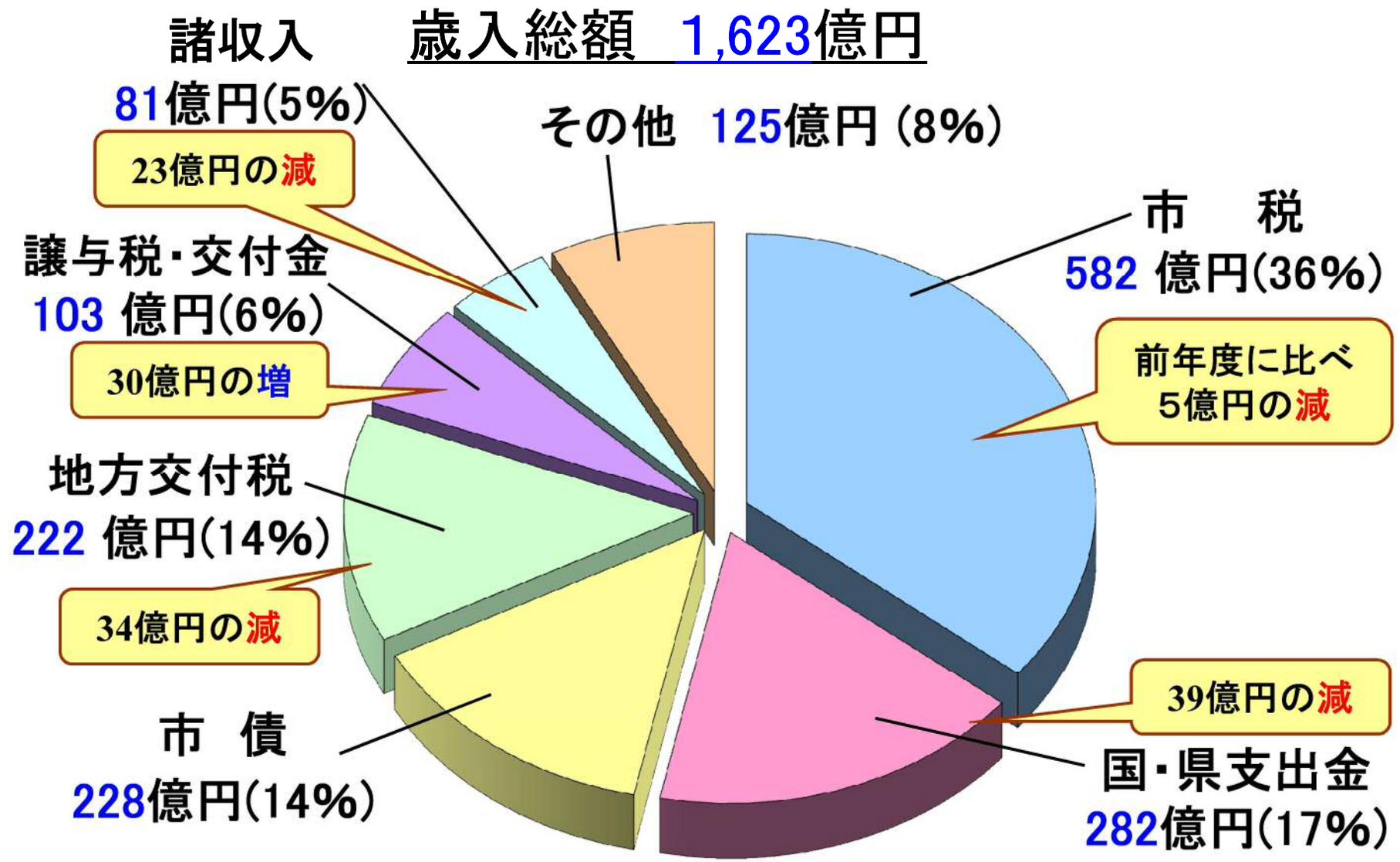
	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	翌年度に繰 り越すべき 財源 (C)	実質収支 (A) - (B) - (C)
一般会計	162,265	156,849	3,235	2,181
特別会計	78,752	78,122	0	630

2. 一般会計 決算額の推移

2



3. 一般会計 歳入の状況



※その他＝分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金
※各項目で端数処理をしているため計数が合わない場合がある。 ※()内は、構成比

4. 一般会計 歳入の状況(対前年度比)

4

(単位:百万円)

区 分	27年度	26年度	増減額	増減率
市 税	58,159	58,693	△534	△1%
譲与税・交付金	10,265	7,182	3,083	43%
地方交付税	22,238	25,624	△3,386	△13%
国・県支出金	28,174	32,078	△3,904	△12%
諸収入	8,087	10,371	△2,284	△22%
市 債	22,797	22,441	356	2%
その他	12,545	14,195	△1,650	△12%
合 計	162,265	170,584	△8,319	△5%

※各項目で端数処理をしているため計数が合わない場合がある。

5. 一般会計 歳入の主な増減内容

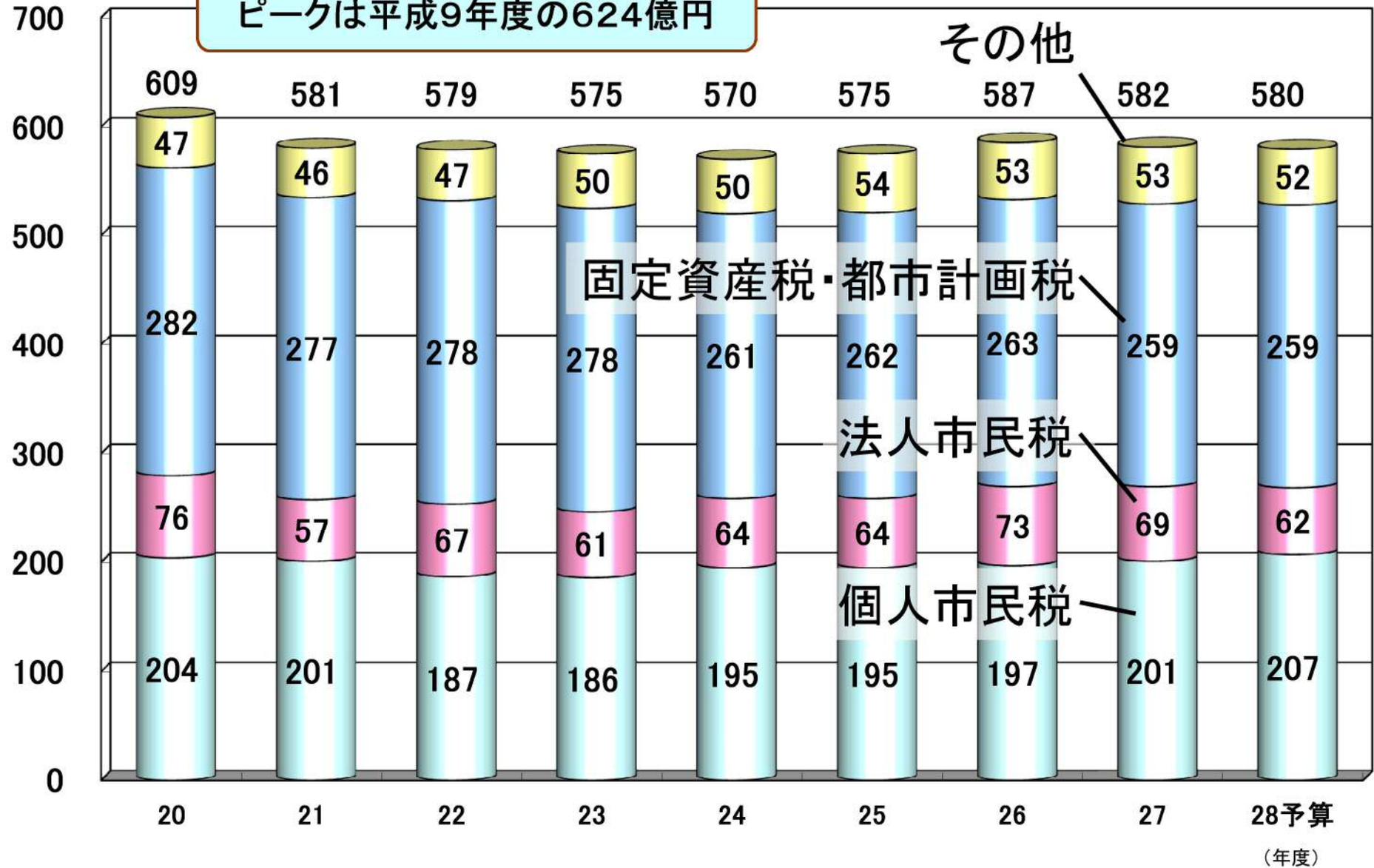
5

- 市 税
 - 個人市民税 + 3.1億円
 - 法人市民税 △ 4.6億円
 - 固定資産税・都市計画税 △ 4億円
- 地方消費税交付金 + 29.6億円
- 地方交付税 △ 33.9億円
- 国・県支出金
 - 児童福祉運営費負担金 + 14.1億円
 - 街路事業費交付金 △ 6.5億円
 - 公園緑化費交付金 △ 27.5億円
 - 臨時福祉給付金等国庫補助金 △ 6.8億円
- 諸 収 入
 - 消防救急無線デジタル化整備負担金 △ 20.2億円
- 市 債
 - 市民会館管理施設整備事業債等 + 26.3億円
 - 庁舎整備事業債 + 20.2億円
 - 臨時財政対策債 △ 14.7億円
 - 公園整備事業債 △ 30.5億円

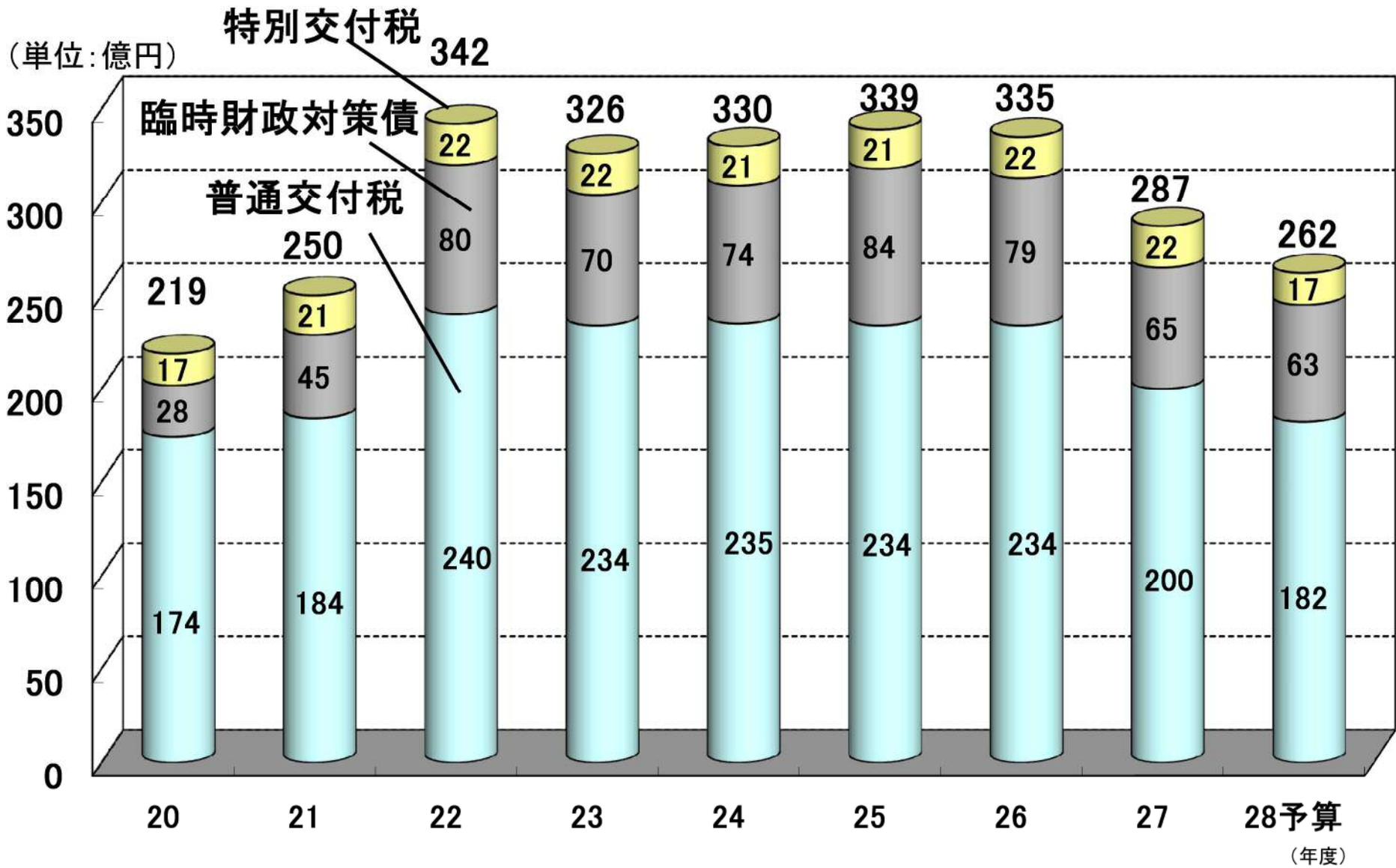
6. 市税の推移

(単位:億円)

ピークは平成9年度の624億円



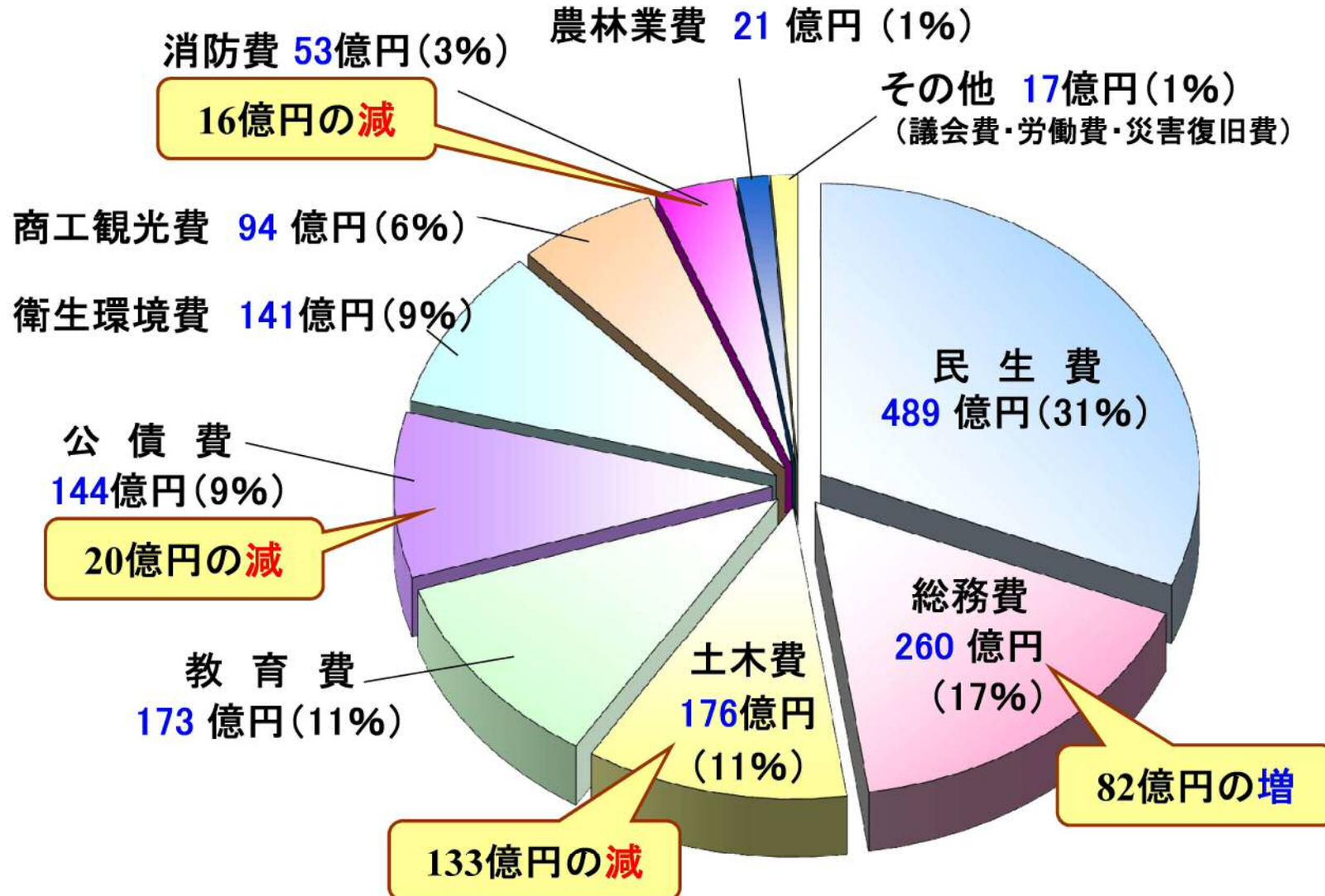
7. 地方交付税及び臨時財政対策債推移



8. 一般会計 歳出(款別)の状況

8

歳出総額 1,568 億円



※各項目で端数処理をしているため計数が合わない場合がある。

※()内は、構成比

9. 一般会計 歳出(性質別)の状況(対前年度比)

9

(単位:百万円)

性質別経費区分		27年度	26年度	増減額	増減率
義務的	人件費	22,971	22,836	135	1%
	扶助費	28,326	28,444	△118	△0%
	公債費	14,372	16,387	△2,015	△12%
	義務的経費計	65,669	67,667	△1,998	△3%
投資的	補助事業	10,024	20,183	△10,159	△50%
	単独事業	25,527	24,803	724	3%
	投資的経費計	35,551	44,986	△9,435	△21%
その他経費		55,629	52,943	2,686	5%
歳出合計		156,849	165,596	△8,747	△5%

※各項目で端数処理をしているため計数が合わない場合がある。

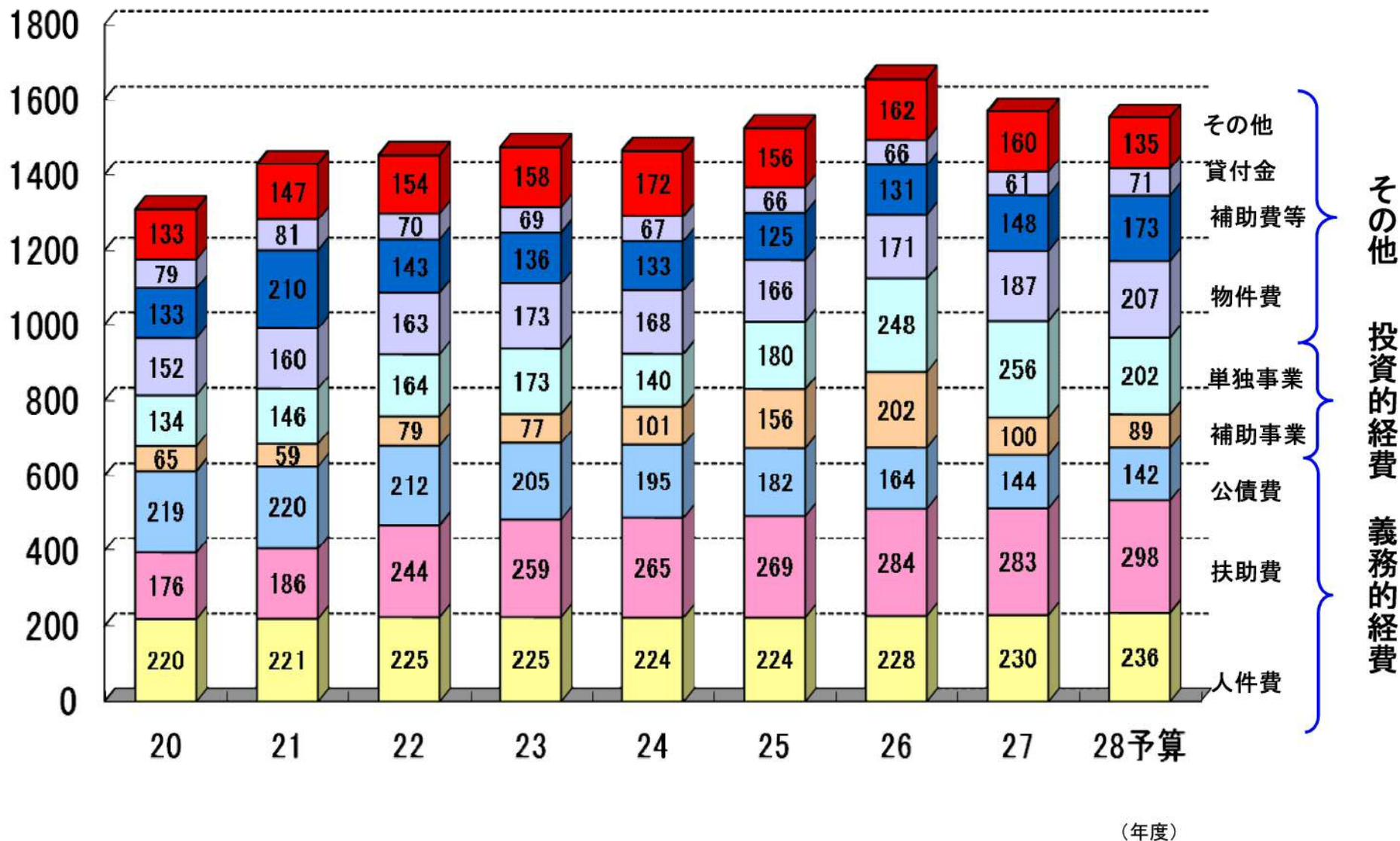
10. 一般会計 歳出の主な増減内容

10

- 人件費
 - 共済費負担金 + 1.1億円、委員報酬 + 0.6億円
 - 期末勤勉手当 △ 1.2億円
- 扶助費
 - 障害者(児)介護給付費・訓練等給付費 + 3.1億円
 - 私立保育所入所委託費等 + 2.2億円
 - 臨時福祉給付金給付事業等 △ 6.8億円
- 公債費
 - 市債元利償還金 △ 20.1億円
- 投資的経費
 - (補)第四学校給食センター(仮称)建設事業 + 4.5億円
 - (補)南長野運動公園総合球技場整備事業 △ 62.9億円
 - (単)第一庁舎・長野市芸術館建設事業 + 51.6億円
 - (単)消防救急無線デジタル化整備事業 △ 19.4億円
- その他経費
 - 幼稚園・認定こども園施設型給付金 + 7.7億円
 - プレミアム商品券事業補助金 + 4.7億円
 - 道路除雪費 △ 8.5億円

11. 一般会計 歳出(性質別)の推移

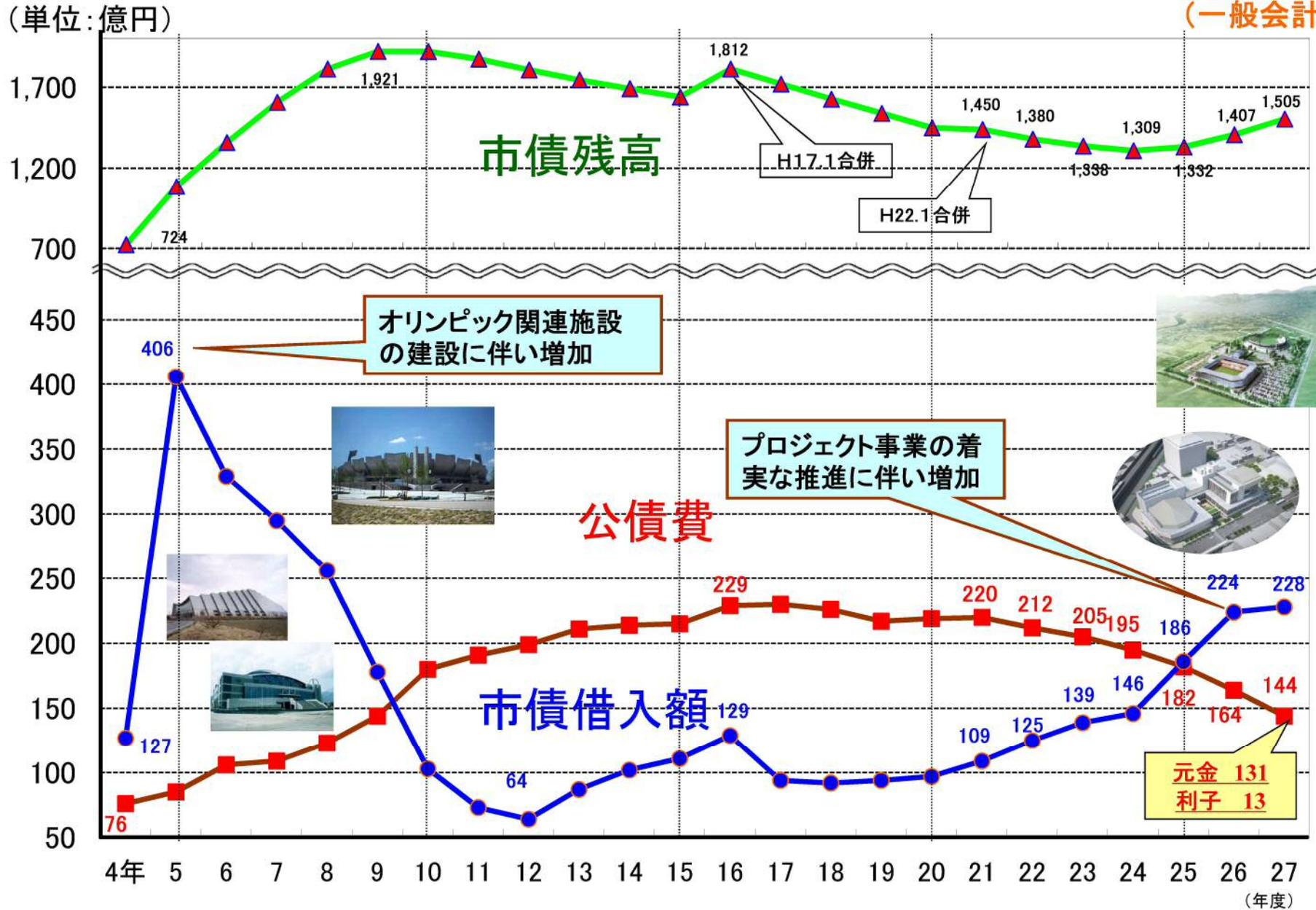
(単位:億円)



※各項目で端数処理をしているため計数が合わない場合がある。

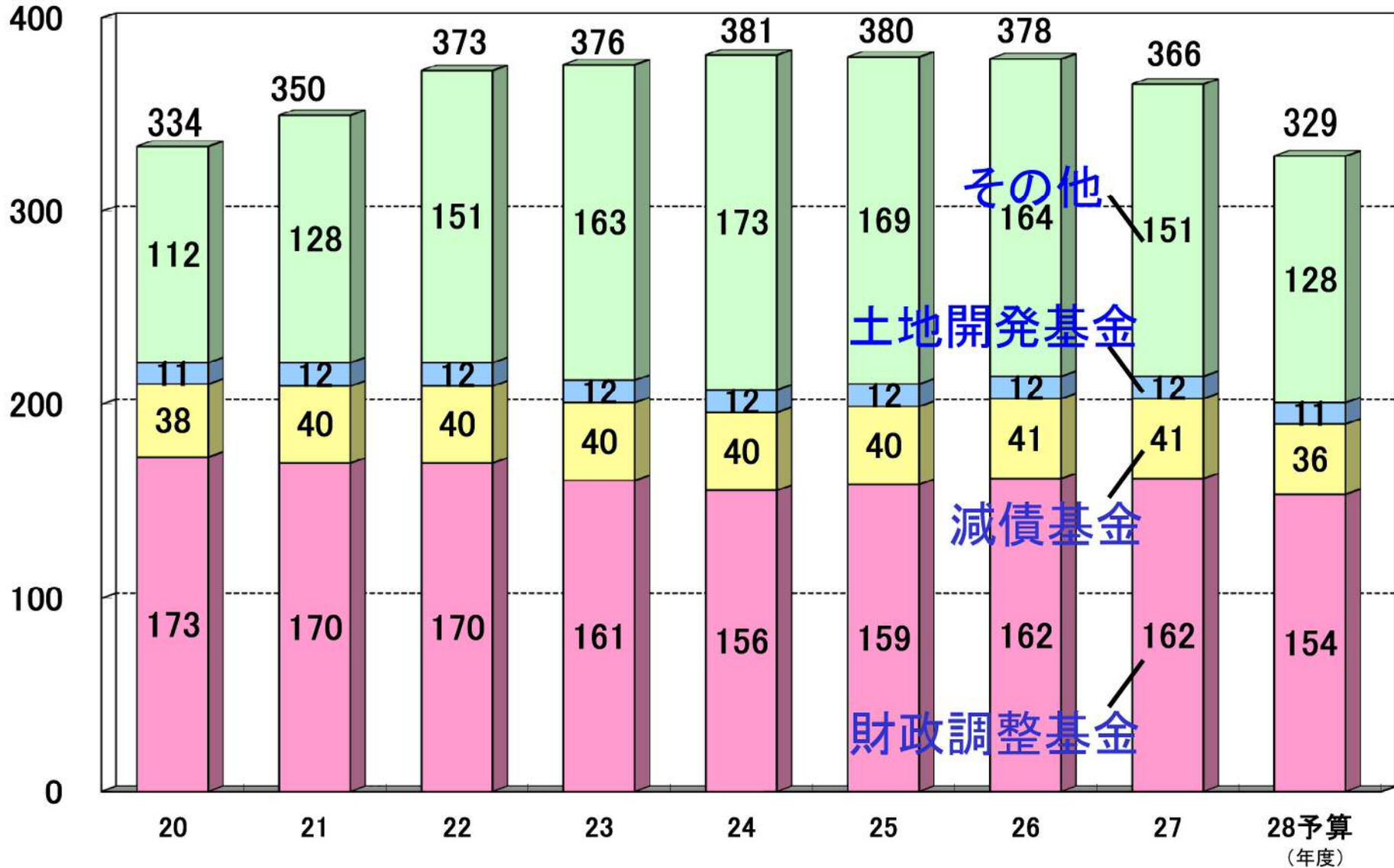
12. 公債費及び市債借入・残高の推移

(一般会計)

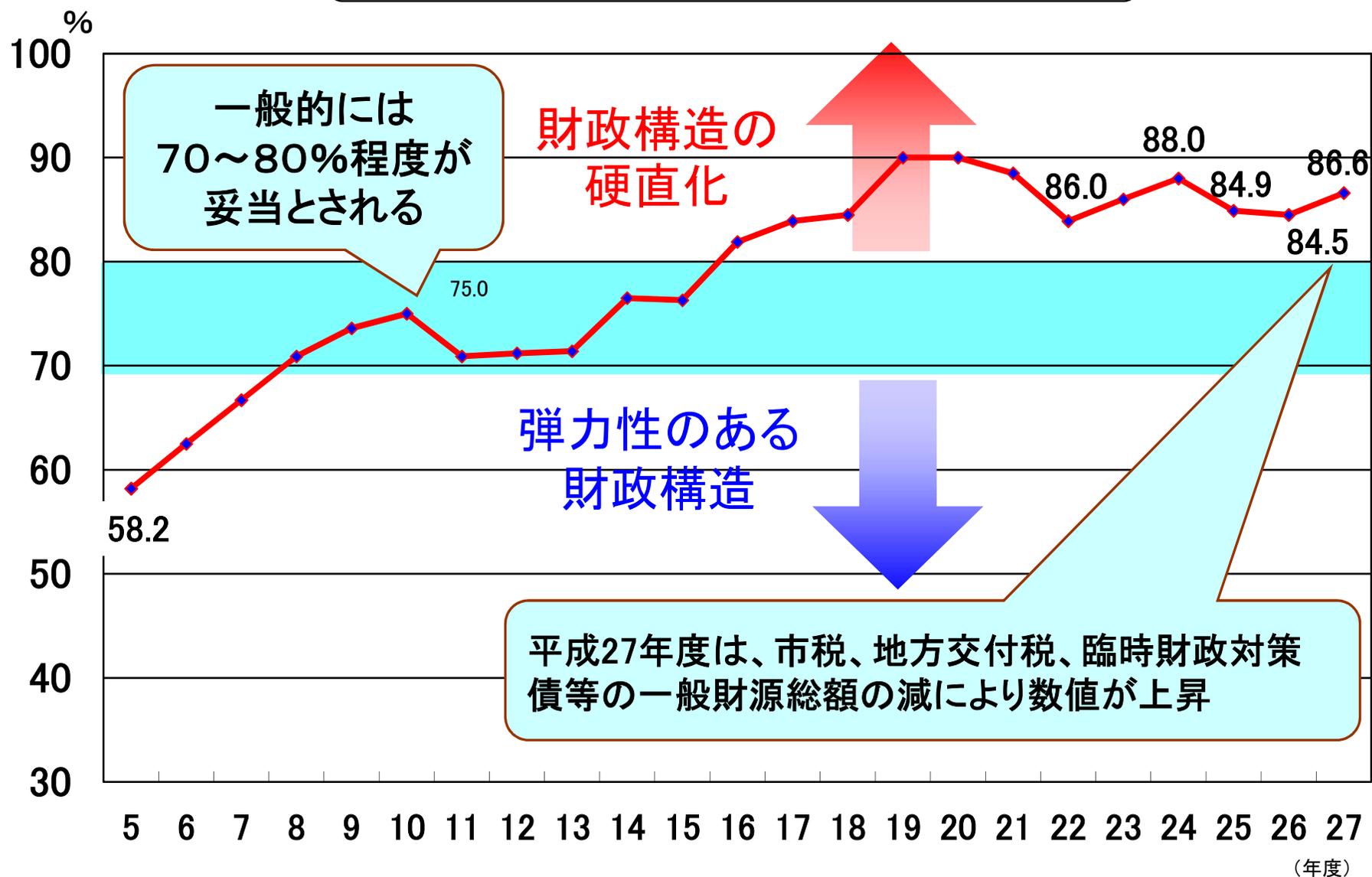


13. 基金残高の推移

(単位: 億円)

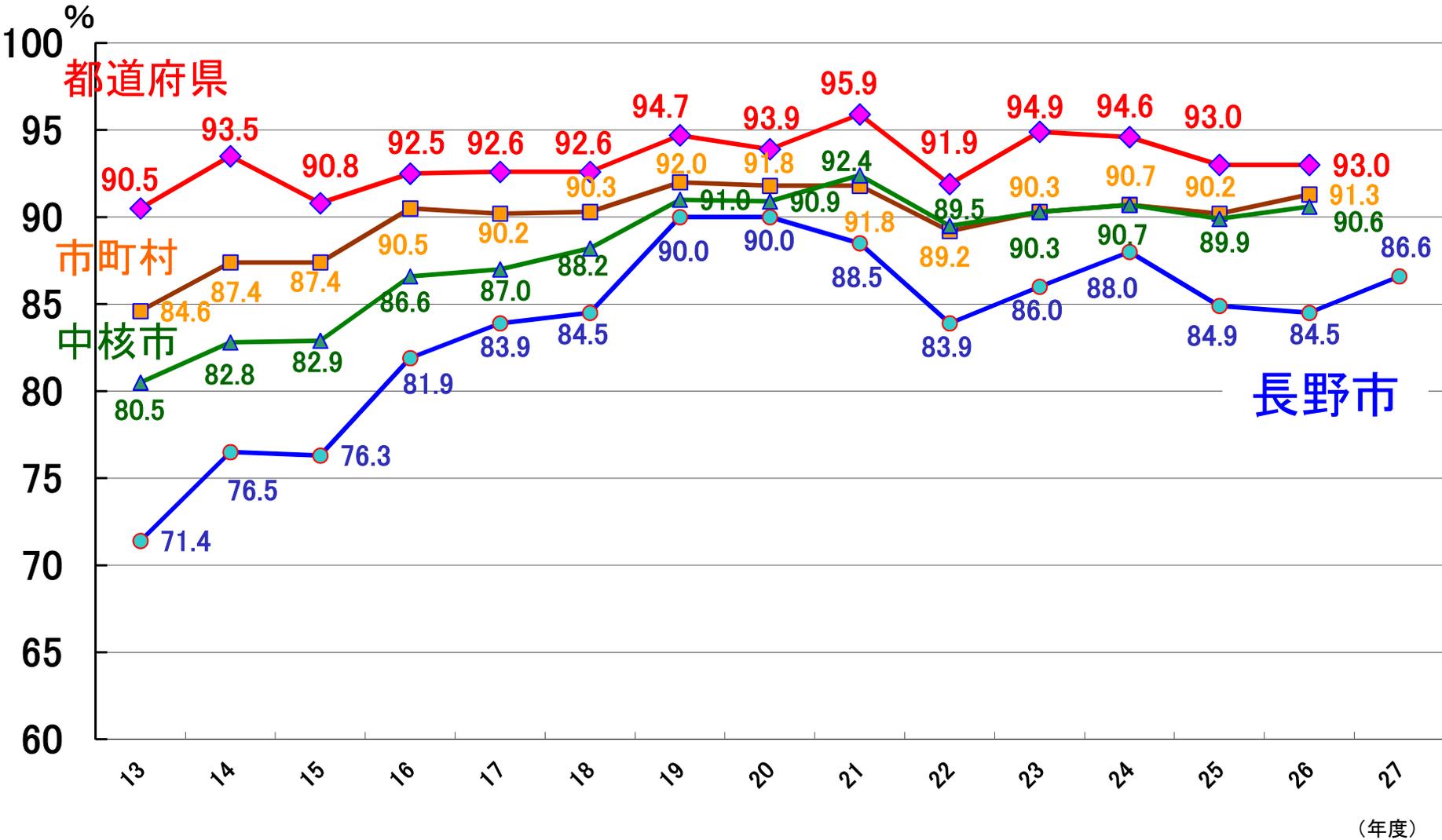


14. 経常収支比率の推移



※経常収支比率とは、市税や地方交付税などの経常的な財源が、人件費や公債費など義務的な経費や経常的な経費にどれだけ使われているかを示す割合です。

15. 経常収支比率の状況



※長野市以外は、総務省「地方財政の状況」から抜粋

16. 経常収支比率前年度比較

○分子の要因: 物件費、補助費等の増 + 27億円
公債費、扶助費等の減 Δ 27億円

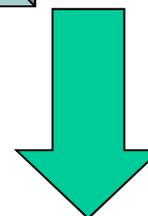
経常費充当経常一般財源

人件費、扶助費、公債費、
物件費、繰出金 など

794億円

分子

増減なし



× 100 = 86.6% (+2.1)

経常一般財源総額

市税、地方譲与税・交付金、
普通交付税、臨時財政対策債
など

918億円

分母

22億円減



○分母減の要因: 地方消費税交付金の増 + 31億円
市税、地方交付税、臨財債等の減 Δ 53億円